



いばらき県議会だより

No.215

茨城県議会

検索

<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>



※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

「いばキラTV」<https://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています
音声版「声の県議会だより」および「点字版県議会だより」も作成しています

発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

Tel.029-301-5646 [年4回発行]

コロナ感染再拡大防止と社会経済の両立のために

- ☑緊急事態宣言地域・まん延防止等重点措置区域との不要不急の往来は、自粛する。
- ☑マスクは正しく着け、30分に1回以上、換気する。野外でも社会的距離(なるべく2m)を確保し、帰宅時、食事などの前後、ドアノブなどに触れた後などには、石けんなどで手洗いを。
- ☑会食は、短時間・少人数で。会食開始前に「いばらきアマビエちゃん」利用登録を済ませ、会話するときは必ずマスクを着ける。
- ☑感染者やその家族、医療従事者などへの不当な差別は、絶対にしない。



県施設のリニューアル・オープン



癒し・可能性・新たな夜の魅力



約1万体のミズクラゲ

令和2年12月18日(金)リニューアル・オープン

アクアワールド茨城県大洗水族館

大洗磯浜町8252-3 ☎029-267-5151



「見る」から、五感で「感じる」



バラのトンネル

令和3年4月29日(木・祝)リニューアル・オープン

いばらきフラワーパーク

石岡市下青柳200 ☎0299-42-4111

※写真は植栽成熟後のイメージです。

第一回定例会の概要

令和三年第一回定例会は、二月二十六日から三月二十四日まで二十七日間の会期で開かれました。

議案は、議員などから、茨城県議会会議規則の一部を改正する規則、県立高校入学者選抜学力検査の採点ミス事案に関する原因究明の徹底、責任の明確化及び再発防止の徹底を求める決議、知事から、令和三年度茨城県一般会計予算、茨城県新型コロナウイルス感染症対応地方創生基金条例などが提出されました。

代表質問は、茨城の将来像を踏まえた県政運営の基本姿勢、県の当初予算編成の考え方、新型コロナウイルス感染症の体制と取り組みなどの項目について行われました。(三〜四面)

一般質問は、営業時間短縮要請の影響を受けている事業者への支援、通常営業時間に戻していく試み、コロナ後遺症に苦しむ方々への支援、WWL^{*}の取り組みの強化などの項目について行われました。(五〜七面)

各常任委員会では、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行い、組織改正の成果検証、営業時間短縮要請等関連事業者支援一時金の今後の事業スケジュール、ワクチン接種の見通し、本県の魅力向上に寄与した取り組み、つくばみらい福岡地区土地造成事業の現在の準備状況などを議論しました。(八〜九面)

予算特別委員会では、ダイバーシティあふれる社会づくり、県北臨海地域の活性化、森林湖沼環境税と森林整備などの質疑を行いました。(十面)

今回の定例会では、予算、条例、人事、報告、決議などの九十四件の議案が可決、同意、承認されました。

ことば ※[WWL] …World Wide Learningの略語で、文部科学省が、高等学校および中高一貫教育校を対象に実施している事業。拠点校には、国内外の大学や企業、国際機関などとコンソーシアムを構築し、先進的なカリキュラムを開発・実践することが求められる。

令和三年一月臨時会 日程および概要

日程
令和三年一月22日(金)

- ・開会
- ・知事提出議案説明
- ・会派代表による質疑
- ・常任委員会
- ・委員長報告
- ・採決
- ・閉会

概要

令和三年一月臨時会は、一月二十二日に開かれました。知事から、飲食店などへの営業時間短縮要請協力金に関する令和二年度茨城県一般会計補正予算案一件および専決処分報告一件の議案が提出され、各会派から、提出議案についての代表質疑が行われました。常任委員会の審査を経て、本会議での採決の結果、これら二件の議案は可決、承認されました。


● 質疑者

西野 一 (いばらき自民党)

齋藤 英彰 (県民フォーラム)

高崎 進 (公明党)

江尻 加那 (日本共産党)



議場での質疑の様子は、こちらから録画映像でご覧いただけます。

新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算などについて審議 令和三年一月臨時会 代表質疑(要旨)



西野 一 議員
いばらき自民党
常陸太田市・大子町選出
一括方式

新型コロナウイルス感染症対策 営業時間短縮要請協力金

議員 協力金は売上の補填と捉えられ、「一律支給では不公平」との声も聞く。不公平感の払拭に向けた県独自の施策検討も必要である。時短要請と協力金の円滑な執行にどう取り組むのか。所感は。

知事 国は制度上、業種や経営状況に応じて支給に差をつけることを認めていない。一日も早く事業者が協力金を届けるのが重要。申請書類の簡素化、電子申請、RPA※活用など事務の加速化を図るほか、資金繰り支援、雇用確保、新ビジネス転換などにも取り組む。

感染拡大防止に向けた 県民へのメッセージ発信等

議員 感染拡大防止に向けて「やってよいこと、だめなこと」を明確にしたメッセージを発信し、「正しく恐れる」ことを県民に強く啓発することが、感染症対策と経済活動の両立に効果的である。わかりやすく効果的に事業者・県民に周知徹底すべきだが、取り組みは、**知事** 特に気を付けて欲しい場面を具体的にイメージできるように「マスクなしをなくしましょう。」と県民に呼び掛けてきた。県民の一人一人が自分事として行動変容につなげるため、記者会見の開催などに加え、あらゆる広報ツールを活用し、県民の理解と協力を得て、感染防止に取り組んでいく。(ほかに、編成方針等、地域経済を守るための更なる対策も質疑)



齋藤 英彰 議員
県民フォーラム
日立市選出
一括方式

新型コロナウイルス感染症拡大に 対する現状認識及び対応

議員 医療資源に限りがある中、感染爆発と医療崩壊を防止し、県民の生命を守るためには一刻の猶予もない。あらゆる対策を講じる時期と考えるが、現状をどう認識し、対策に取り組んでいくのか。

知事 病床稼働率も悪化してきたことから大変強い危機感を持っている。これまで通常医療に大きな支障は生じていないが、引き続き医療現場の状況を適切に把握していく。検査体制をさらに強化し、迅速かつ幅広い検査の実施と病床の確保・拡充に積極的に取り組んでいく。(ほかに、中小企業の支援、円滑な支援の実施も質疑)



高崎 進 議員
公明党
水戸市・城里町選出
一括方式

雇用の維持と解雇された方への支援

議員 雇用の維持に資する支援策の周知やその利用に係るワンストップの相談体制づくりが急務。コロナ禍にあっても誰一人取り残さないという強い決意での支援を求めるが、取り組みは。

知事 県就職支援センターの体制を拡充し、生活・就職・労働相談にワンストップで対応するとともに、市町村や関係団体と連携して、雇用維持のための支援策の周知に努める。また、オンライン就職面接会の開催などを通じ、県内企業の採用活動を促進していく。(ほかに、協力金の予算措置の考え方、事業継続への支援も質疑)



江尻 加那 議員
日本共産党
水戸市・城里町選出
一括方式

医療・介護・児童福祉施設従事者等への 支援

議員 第2波、第3波に対し、国も県も医療や介護従事者などへの慰労金支給を検討していない。二度目の慰労金支給とともに、一回目の対象外であった保育所や学童保育などの職員、薬局で働く薬剤師などにも支給すべきと考えるが、所見は。

知事 慰労金は全国一律の制度である。一方、県としては保育所などの施設職員の役割の重要性を強く認識しており、県や全国知事会において国に対象拡大を要望してきた。国が対象を拡大した慰労金制度を整備した場合、速やかに対応する。(ほかに、営業・外出自粛等の影響を受ける事業者への支援拡充も質疑)

令和三年第一回県議会災害 対策会議を開催しました

県議会における新型コロナウイルス感染症対策を協議するため、令和三年第一回県議会災害対策会議を一月二十一日に開催しました。

今回の会議では、大井川知事から、本県におけるコロナ対策について説明を受け、これに対する質疑を行いました。



議員からの質疑に答える大井川知事

令和二年度一月補正予算案が 全会一致で可決

新型コロナウイルス感染症第3波の深刻化に対応するため、営業時間短縮要請に応じた飲食店に対する協力金を予算計上した、令和二年度一月補正予算案(二百十億円)が全会一致で可決されました。

令和三年一月臨時会で 可決された議案

- 知事提出**
- ◆令和二年度補正予算関係
 - 一般会計補正予算
 - ◆報告
 - 地方自治法第七十九条第一項の規定に基づく専決処分について

日本藝術院会員の彫刻家・能島征二先生 よりブロンズ像が寄贈されました

新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を祈念して、日本藝術院会員の彫刻家・能島征二先生(笠間市出身、水戸市在住)より県議会に対し、ブロンズの女神像「爽風(そうふう)」が寄贈されました。この女神像は、県議会議事堂一階のロビーに設置され、三月九日には、常井議長、石井副議長のほか、各会派の代表者が集い、除幕式が行われました。



能島征二先生ご夫妻とブロンズ像を挟んで、右手に常井議長、左手に石井副議長。常井議長から右に、いばらき自民党の白田会長、県民フォーラムの齋藤代表、公明党の高崎代表、日本共産党の山中議員団長

第1回定例会の主な日程

令和3年第1回定例会は、以下の会期日程で開催されました。

- 2月26日(金) **本会議** (開会、知事提出議案説明)
- 3月3日(水) } **本会議** (代表質問・質疑)
- 4日(木) }
- 3月5日(金) } **本会議** (一般質問・質疑)
- 8日(月) }
- 9日(火) }
- 10日(水) }
- 3月12日(金) } **常任委員会**
- 15日(月) }
- 16日(火) }
- 17日(水) }
- 3月18日(木) **本会議** (予算関係議案常任委員長報告等)
- 3月19日(金) } **予算特別委員会**
- 22日(月) }
- 3月24日(水) **本会議** (委員長報告、採決、閉会)

代表質問※(要旨)

宇宙ビジネス創造拠点の形成

議員 茨城の将来像を描くには、これまでの成果を生かし、さらに目標を高く掲げていくことが必要である。また、コロナ禍にあつて県民の命と健康、暮らしと雇用を守り、事業者支援などに視点を置くべきであるが、知事が目指すべき目標、茨城の将来像を踏まえた県政運営の基本的な考え方は、

知事 入院受入医療機関や中小企業への支援を引き続き実施するとともに、価値観や社会構造の変化をチャンスと捉え、産業競争力の強化などにより本県の活力をさらに高め、医療や福祉など生活基盤の充実を図り、活力があり県民が日本一幸せな県の実現に向け取り組んでいく。



飯塚 秋男 議員
いばらき自民党
下妻市選出
一括方式

茨城の将来像を踏まえた県政運営の基本姿勢

議員 宇宙ビジネスの創造拠点形成に向け、茨城に暮らす子どもたちを宇宙旅行に招待するなど、夢のある構想を打ち上げるべきである。また、宇宙ビジネスという大きな夢に向かって、本県が果敢に挑戦し邁進していることを、県民に伝えていくべきと考えるが、どう取り組むのか。

知事 県内企業の宇宙ビジネスへの参入を促進した結果、百社以上の企業が本県を拠点に活動を開始し、国際宇宙ステーションに向け打ち上げられたロケットに県内企業の実証衛星が搭載されるなど、成果も生まれつつある。企業のさらなる活躍を促し、成果の発信に努め、県民が宇宙に抱く夢や期待に応えられるよう、宇宙ビジネス創造拠点の一層の充実強化を図っていく。

新しい県総合計画の策定に向けた方針

議員 知事は、どのような方針とスケジュール感をもって、新しい県総合計画の策定を進めていくのか。

知事 知事として残りの任期は、感染症対策と経済活動の両立に

水戸学を中心とした本県の歴史的背景等の理解促進

議員 圏央道沿線においては、熾烈な企業誘致合戦が繰り返されている。他県の先を越す産業用地供給に向け、県は踏み込んだ取り組みが不可欠であり、一社でも多くの企業を本県に呼び込む取り組みを強化すべきと考えるが、企業誘致の方針は、

知事 圏央道周辺にて、近隣県との競争に勝ち抜くため、緊急的な措置として約二十年ぶりに県が事業主体となり産業用地を創出し、市町村や民間の開発と合わせて百五十ヘクタール超の確保を目指していく。また、次世代自動車をはじめとする世界レベルの企業の研究開発拠点など、今後の茨城の成長エンジンとなる最先端分野の一大拠点形成を目指し、全力で取り組む。

水戸学を中心とした本県の歴史的背景等の理解促進

議員 大河ドラマ「青天を衝け」の放送開始により、水戸学を中心とした本県の歴史的背景が、今こそ、県民が、水戸学の意義を深く理解し、水戸学を中心とした本県の歴史的背景などの理解促進を図る機会を設けるべきである。子どもたちの心に深く刻んでもらえるよう、教育面でも積極的に取り上げてほしいが、どう進めていくのか。

教育長 弘道館での企画展「渋沢栄一と弘道館」の開催や水戸城跡周辺の復元整備を進める水

水戸学を中心とした本県の歴史的背景等の理解促進

質問者

3月3日(水) 飯塚 秋男 (いばらき自民党)

3月4日(木) 齋藤 英彰 (県民フォーラム)

高崎 進 (公明党)

議場での質問の様子は、こちらから録画映像でご覧いただけます。



宇宙ビジネス創造拠点の一層の充実強化を

「変革期をリードする新時代の茨城づくり調査特別委員会」を設置しました

新型コロナウイルスの感染拡大をはじめとして、我が国は大きく変容する時代の転換点に直面しており、本県においても、県政のあらゆる分野においてコロナ収束後の社会を見据えた「変革」が求められています。

また、令和三年度で「県総合計画」の計画期間が終了することから、新たな県政運営の指針を、県民に向け明確に示すべき時期にあります。

県議会基本条例の第二五条では、「県政に係る基本計画等の重要な政策の作成に当たっては、関連する議会の政策提言の趣旨を尊重する」とされていることから、その趣旨を踏まえ、令和四年度を初年度とする次期県総合計画のメルクマールとするとともに、変革の時代をリードする強い財政基盤と行政運営を構築するための提言を行う必要があります。

そこで、「変革期をリードする新時代の茨城づくり調査特別委員会」を三月二十四日の本会議において設置しました。委員の構成は十五名で、次のとおりです。

委員長	森田 悦男	委員	金子 晃久
副委員長	田口 伸一	委員	塚本 一也
委員	海野 透	委員	村田 康成
委員	葉梨 衛	委員	高安 博明
委員	川津 隆	委員	田村 けい子
委員	石井 邦一	委員	山中 たい子
委員	川口 政弥	委員	本澤 徹
委員	岡田 拓也		

質問方式について

議員は次のいずれかの質問方式を選択できます。

○一括方式
質問項目全てについて一括して質問し、一括して答弁を求める方式。

○分割方式
質問項目ごとに分割して質問し、その都度、答弁を求める方式。

戸市や水戸藩の調査研究などを行う大学などの取り組みと積極的に連携をしていく。また、教員の研修の機会を捉え、郷土に関する授業の優良事例を周知することにより、子どもたちが水戸学をはじめとする本県の歴史について学ぶ体制を整えていく。

(ほかに、予算編成方針、小中学校三十五人学級なども質問)

※代表質問…会派を代表して行う質問を代表質問といいます。茨城県議会の場合には、4人以上の会派が代表質問を行うことができます。なお、議員個人の立場で行う質問を一般質問といいます。

代表質問(要旨)



齋藤 英彰 議員
県民フォーラム
日立市選出
一括方式

県の当初予算編成の考え方

議員 財源の大きな柱である県税の大幅減収が見込まれる。アフターコロナも見据え、人口減少社会においても県が大きく飛躍するため、どのような工夫をしつつ、どのような思いを込めて予算編成に取り組んだのか。

知事 県がさらなる飛躍を遂げる年と位置付け予算編成した。県自らは約二十年ぶりとなる工業団地の造成、陸上養殖産業の創出、常設型観光施設の誘致促進など、未来への投資につながる施策を積極的に盛り込んだ。

新型コロナウイルス感染症への対応

議員 医療資源には限りがあり感染者数を減らす努力が求められる。変異ウイルスの拡大防止にどう対応していくのか。ワクチン接種はどう進めていくのか。

知事 変異株のまん延を防ぐため、国立感染症研究所とも連携して積極的な検査に取り組む。予防接種の実施主体となる市町村へは相談対応などで支援する。医師や看護師の確保が困難となる場合に備えて医師会などに協力を依頼している。県民が接種の判断をできるよう、さまざまな媒体により情報を発信していく。

児童虐待の防止

議員 児童虐待が増加し、児童相談所の役割が大きくなっている。

る。AIを活用した支援システムの導入を検討することにも、市町村での専門性確保に向けた支援策の充実強化も重要である。今後どう取り組んでいくのか。

知事 児童福祉司、児童心理司の増員を計画的に進める。市町村設置の「要保護児童対策地域協議会」に児童相談所も積極的に参加し、地域の関係機関との連携・協力体制を深化させる。AIの活用は、国で全国統一ツールを開発するとされており、提供開始の際は積極的に活用する。

教育の質の向上

議員 教育現場は教職員の熱意と献身的な努力で支えられている。教員志願者の確保と働き方改革、教科担任制の導入にどう取り組むのか。

教育長 働き方改革は、実証研究で専科指導教員の活用などを進めており、今後取り組みの成果を全学校に導入する。志願者確保は、試験会場を東京、名古屋、仙台に設置し他県と併願可能な日程で行う。教科担任制は全国に先駆け、来年度、県内の全公立小学校高学年に配置する。(ほかに、県総合計画の進捗、新産業廃棄物最終処分場の整備なども質問)



専科指導教員活用による授業の様子



高崎 進 議員
公明党
水戸市・城里町選出
一括方式

新型コロナウイルスワクチン接種の体制と取り組み

議員 県内全域で、県民全員が速やかに接種を受けられるよう、県が調整役を担うなど広域的な対応も必要である。また、副反応など、ワクチン接種に関する県民からの相談窓口の整備も求められるが、取り組みは。

知事 県では専任チームを設置し、市町村などと連携してワクチン接種体制の構築に当たっている。また、相談窓口としてコールセンターを開設したほか、来月から各地に連携医療機関を置き、副反応に係る診療相談体制の強化に取り組んでいく。

医療提供体制と療養環境の整備

議員 医療提供体制の確保が最優先の課題であるとともに、自宅での療養体制も重要である。パルスオキシメーターを自宅療養者全員に配布し、重症化に至る前に医療機関を受診できるようにすべきと考えるが、所見は。

知事 県では自宅療養者に係る健康観察チームを設置し、一日二回の聞き取りなどを行っている。パルスオキシメーターは、今般自宅療養者に行き届く分を購入したところであり、今後、貸出対象を拡大していく。

少人数学級と教科担任制の導入

議員 公立小学校における少人数学級と教科担任制の導入による

り、教育環境のさらなる充実が期待される。一方で、教員の質と量を確保するのが大きな課題であると考えるが、取り組みは。

特別支援教育の総合的な推進

議員 水戸や友部など老朽化した校舎への対策が必要である。また、特別支援教育を総合的に推進していくため、ビジョンの策定も必要と考えるが、所見は。

教育長 老朽化した校舎は、建築年度が古い学校から改修を進めていく。水戸特別支援学校なども、空調設備設置やトイレ改修などを実施する。また、現在、有識者などの意見を聴取しながら今後の特別支援教育の在り方を検討しており、ソフトとハード両面を充実させ、特別支援教育を総合的に推進する。

(ほかに、水害に対する河川の流域全体で被害を軽減する治水対策、障がい者の福祉的就労の充実なども質問)



命を守るパルスオキシメーター

県議会「県民との青空対話議会」を開催します

県議会では、山積する諸課題に対し、県民目線に立つて解決策を講じていくことが必要であると考えています。

このため、新たな試みとして「県民との青空対話議会」を開催し、さまざまな分野の県民の方と、コロナ禍で困っていることや行政に望むこと、アフターコロナ社会などについて忌憚のない意見交換を行い、議会における委員会などの審議に生かしていく予定です。



茨城県議会議事堂(茨城県庁舎東側)

令和二年度二月(最終)補正予算案が全会一致で可決

令和二年度予算の各種執行残に加え、国による予算補正に関連した補正、それ以外の、営業時間短縮要請等関連事業者への支援一時金などを計上した令和二年度二月(最終)補正予算案、さらには、二月に発生した高病原性鳥インフルエンザ対策を計上した補正予算案の追加提案が全会一致で可決されました。(歳入歳出の補正を差し引いて約十三億六千四百万円増)

補正の主な内容

- (歳入)
 - ・県税(法人事業税の減など) 八十九億二千三百万円の減
 - ・地方譲与税(特別法人事業譲与税の減など) 六十二億三千四百万円の減
 - ・国庫支出金(国の予算補正への対応に伴う増など) 二百十七億二千六百万円
 - ・県債(国の予算補正への対応に伴う増など) 二百九十億三千万円
- (歳出)
 - ①国の補正関連分の事業
 - ・緊急輸送道路の整備や橋の老朽化対策など 二百八十四億五千二百万円
 - ・生活福祉資金の貸付原資・債権管理に係る事務費への補助 百九億千七百万円
 - ②国の補正関連分以外の事業
 - ・営業時間短縮要請などで影響を受けた事業者への一時金の支給 二十一億七千四百万円
 - ・高病原性鳥インフルエンザの防疫対策などに係る経費 十一億千二百万円

など

一般質問(要旨)

営業時間短縮要請の影響を受けている事業者への支援

議員 本県は、独自で緊急事態宣言を発し、営業時間短縮要請をしてきた。このため、独自の支援策を打ち出し、影響を受けている事業者を継続的に支援していくべきと考えるが、今後の取り組みは。

知事 営業時間短縮要請に伴う飲食店への協力金の支給や、県独自の緊急事態宣言の影響を受けた事業者への一律二十万円の支給のほか、新分野進出に取り組む事業者向けの融資の拡充などにより、事業者支援に全力で取り組む。



星田 弘司 議員
いばらき自民党
つくば市選出
分割方式

働き方改革を踏まえた部活動改革

議員 国は、働き方改革を踏まえた部活動改革として、休日の部活動を地域へ移行していく方針だが、本県は、子供たちに望ましい部活動の在り方をどう構築するのか。教育長 部活動を地域へ移行するには、運営団体の確保、学校と地域団体との費用負担など、課題があるため、次年度、県内二か所のモデル校で実証研究をし、休日の部活動の在り方を見直していく。(ほかに、若年がん患者の妊孕性温存療法^{※1}への助成、障害者スポーツの振興なども質問)



つくばFCの指導者が指導する様子
(谷田部東中学校)

コロナ後遺症に苦しむ方々への支援

議員 コロナ後遺症に悩む方々が増大している。県は、後遺症の現状をどう認識し、今後、増大することが想定される後遺症に苦しむ県民への支援にどう取り組むのか。

保健福祉部長 後遺症は、いまだ不明なことが多く、国では、発症頻度や障害の持続期間など、全国のデータを集め研究を進めている。県では、苦しんでいる方が孤立しないよう、保健所などの相談窓口のさらなる周知を図り、相談者に寄り添った対応を心掛ける。



高橋 勝則 議員
いばらき自民党
古河市選出
一括方式

地域事情に応じた特別支援学校の充実

議員 特別支援学校の地域事情などに応じた、通学ルートや通学時間の適正化、また、老朽化した特別支援学校の計画的かつ迅速な改修にどう取り組むのか。

教育長 スクールバスのルートや停留所の数など必要な見直しを行う。老朽化対策として、長寿命化計画を策定したところであり、今後は計画的に予防保全を行うなど、適正な維持管理と整備を行う。(ほかに、軽自動車不正登録による犯罪の現状と対策、国道四号既設信号機の機能強化なども質問)



特別支援学校の計画的な改修を
(下妻特別支援学校)

県議会の録画中継をご覧ください

県議会のホームページでは、これまでに開催された各定例会における、知事の提出議案説明、各会派議員の代表質問、一般質問、予算特別委員会質疑などの様子を録画中継でご覧いただくことができます。

議会活動を文字で読むだけでなく、議場における各議員の質問・質疑の様子を映像と音声で見聞きすることで、県政で議論されている問題を、より身近に感じていただけます。

県議会の録画中継は、以下のURL又はQRコードからご覧いただくことができます。

県議会ホームページ
(録画中継コーナー)



<https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/>
※QRコードは株式会社ウェブの登録商標です。



QRコードを掲載しました

代表質疑者(2面)、代表質問者(3面)、一般質問者(5面)、予算特別委員会質疑者(10面)にQRコードを掲載しました。こちらから質問などの録画映像をご覧ください。

● 質問者

3月5日(金)

星田 弘司 (いばらき自民党)

中村 はやと (無所属)

高橋 勝則 (いばらき自民党)

3月8日(月)

田村 けい子 (公明党)

田口 伸一 (いばらき自民党)

外塚 潔 (いばらき自民党)

3月9日(火)

水柿 一俊 (いばらき自民党)

岡田 拓也 (いばらき自民党)

山中 たい子 (日本共産党)

3月10日(水)

遠藤 実 (県民フォーラム)

石塚 隼人 (いばらき自民党)

萩原 勇 (いばらき自民党)

議場の様子は、こちらから録画映像でご覧いただけます。

通常営業時間に戻していく試み

議員 飲食店に対し、店の滞在時間や人数を制限するよう協力いただき、営業時間の短縮要請ではなく、営業時間を通常どおりにする取り組みも必要であるが、所見は。

知事 滞在時間や人数を制限することも一つの考え方だが、一方で実効性の担保に問題もある。県では、会食時でもマスクなしでの会話を極力減らすことが重要と考え、具体的な事例に基づいた情報発信を行うほか、国などの専門家の見解を踏まえた適切な対策を講じる。



中村 はやと 議員
無所属
古河市選出
一括方式

経営規模に応じた茨城県独自の支援

議員 飲食店の事業者や県民の生活を守るためにも、事業者の経営規模に応じた茨城県独自の支援について検討してほしいが、所見は。

産業戦略部長 県では今年度、三年間無利子の融資制度を創設するなど、事業者の規模や状況に応じた支援の充実強化を図っている。また、国の雇用調整助成金など、支援策の活用促進にも注力し、必要な支援に迅速に取り組んでいく。(ほかに、実態に即した新型コロナウイルス感染症対策、マイクロツーリズム^{※2}の推進なども質問)



飲食店を再開している様子
への充実した支援

WWLの取り組みの強化

議員 わが県にはWWLの拠点校がなく、指定を急ぐべき。高校単独の取り組みには限度があるため、県としてどう強化していくのか。

教育長 昨年度、土浦一高がWWLに応募したが、採択には至らなかった。県内高校の指定を目指し、インドネシアの生徒と森林環境問題に取り組む埼玉県の筑波大学附属坂戸高校を視察した。今後は、先進校の好事例を紹介するなどして機運を高め、国外の大学や研究機関などとの連携構築に取り組む。



田村 けい子 議員
公明党
つくば市選出
一括方式

自殺対策の強化

議員 コロナ禍で女性の自殺者が増加している。本県の相談窓口は昼間のみだが、愛知県はLINEによる夜間窓口を開設した。相談や情報提供の強化について所見は。

保健福祉部福祉担当部長 県は、平日の相談員を二人に拡充し、来年度から土日も同様にする。また、四月から、茨城ののちの電話で開始するLINE相談の状況を踏まえ、相談体制の強化を検討していく。(ほかに、生物多様性の保全と生態系の持続可能な利用、つくば国際会議場の活用方針なども質問)



県内高校の指定に向け
WWLの取り組み強化

※1 【妊孕性(にんようせい)温存療法】 …がんを治療するための化学療法や放射線療法で生殖機能が損なわれることがあるため、精子、卵子などを凍結保存して、不妊に対処する治療のこと。本県は、令和3年度予算で同療法を受ける若年がん患者への助成事業を実施予定。

※2 【マイクロツーリズム】 …株式会社星野リゾートが提唱した観光スタイルで、地域の魅力再発見を念頭に、自宅から1時間圏内を目的地とした観光のこと。

一般質問(要旨)



田口 伸一 議員
いばらき自民党
鹿嶋市選出
分割方式

コロナ後を見据えて本県の強みを発揮する企業誘致策

議員 コロナ禍による生産拠点の見直しや脱炭素化により、産業構造に大きな変化が見られる中、本県の強みを生かし、新たな切り口での企業誘致を期待するが所見は、**知事** 国の脱炭素化への企業支援の動きを捉え、次世代自動車分野やその取引関係にあるIT企業などを対象に研究開発拠点などへの設備投資意向調査を実施し数社と具体的に交渉を進めている。戦略的な誘致を一層加速し、一社でも多くの企業誘致に結び付けていく。



外塚 潔 議員
いばらき自民党
かすみがうら市選出
一括方式

霞ヶ浦環境科学センターの役割とチャレンジ

議員 今後の事業検討に向け、研究成果の活用と発信、楽しみ、稼げるサービスも含めたマネジメント、他との連携体制の構築を提言する。センターの未来に向けた役割、チャレンジについて所見は、**県民生活環境部長** 生態系サービスを次世代に引き継ぐ精神を地域に浸透させる役割がある。イベントを通じ、歴史、民俗、農林漁業、観光などの分野と連携するほか、県自然博物館と連携し、そのノウハウを活用した取り組みを進める。

オリンピック会場地における感染防止対策

議員 茨城カシマスタジアムにおいて東京2020オリンピックのサッカー競技が開催予定だが、オリンピック会場地での感染防止のため、県としてどう取り組むのか。**県民生活環境部長** 国などによる中間整理を踏まえ対策が講じられるが、県は陽性者発生の場合もとり、競技会場周辺での感染症対策などを行う。担当部局や地元市町による体制を整備し取り組み。(ほか)、高齢者・障害者施設における感染防止対策の充実・強化、鹿嶋海岸の侵食対策なども質問)



東京五輪サッカー競技が開催予定の茨城カシマスタジアム(鹿嶋市)

国道三五号急カーブ区間の緩和対策の進捗と今後の見通し

議員 かすみがうら市戸崎地区のカーブ区間は、見通しが悪く、死亡事故を含めた交通事故が絶えない。早急に急カーブの緩和対策に取り組み、事故の起きにくい道路へと改善してほしいが、所見は、**土木部長** 応急対策として、路面標示などを設置した。道路の線形改良にも着手しており、現在、用地取得手続を進めている。早期の工事着手、完了を目指していく。



設立15年目を迎えた霞ヶ浦環境科学センター



水柿 一俊 議員
いばらき自民党
筑西市選出
一括方式

稲作農家の経営安定対策

議員 米余りから価格低下が予想される。国が新たに設けた都道府県連携型助成を活用し作付転換を促すなど、需要に応じた米の生産を図るべきだが、どう取り組むか。**農林水産部長** 飼料用米への作付転換を中心に推進する。その際、都道府県連携型助成の活用は考えていないものの、国の交付金を効果的に活用し、他県より手厚い助成を行うなどして農家所得の安定を図る。その上で園芸品目など高収益作物への転換も推進していく。



岡田 拓也 議員
いばらき自民党
高萩市・北茨城市選出
一括方式

知事の1期4年間ににおける県北振興の総括

議員 県北地域の振興は、どうテーマを設定するか、どの手法を用いるかを捉えて集中的な投資を行い持続可能な取り組みを推進すべきである。県北振興のこれまでの評価とこれからの姿について伺う。**知事** 市町の取り組みを支援した結果、高萩市ではグランピングなどの施設を整備し、地域主体の街づくりを促進した。さらなる取り組みとして地域課題解決に取り組む起業型地域おこし協力隊を増やし、活動強化と定着の促進を図る。

移動式オービス*の効果的な運用

議員 速度違反をした車両を検知し撮影する機材、移動式オービスが茨城県警に導入された。期待する効果と今後の運用は、**警察本部長** 狭い通学路や生活道路でも取り締まりが実施でき、通行車両の速度抑制による交通事故の防止や、被害軽減が期待される。交通事故発生状況や住民の要望を把握し、より効果的に運用していく。



稲作農家の経営安定を

学校における感染症対策と教職員確保

議員 優秀な人材の確保のため、他県からも本県で教員を目指すように思えるような取り組みを実施すべきと考える。学校の感染症対策と教職員確保について伺う。**教育長** 令和三年度も継続した学校サポーターの配置に向け、人材の確保に努める。教職員の志願者数確保のため、他県と同じ日程で実施していた一次試験を前倒しして、試験会場も東京などを加える。



県北振興の持続可能な取り組みを(はぎビレッジ:高萩市)

「茨城県議会改革推進会議」を設置しました

県議会がこれまで以上に県勢発展をリードしていくためには、「県民の目線」と「納税者の視点」に立ち、従来の慣例にとらわれないことなく進取の気鋭で自ら改革を進めていく必要があることから、三月二十四日の本会議において議長の諮問機関として「茨城県議会改革推進会議」を設置しました。

この会議では、「茨城県議会基本条例の見直し」「議会審議・委員会審査の充実」「ICT化の推進」「議会会期の在り方」「県議選の投票率向上」をテーマに検討を行います。構成する委員十一名は次のとおりです。

- | | | | |
|------|-------|----|--------|
| 座長 | 小川 一成 | 委員 | 長谷川 重幸 |
| 座長代理 | 館 静馬 | 委員 | 齋藤 英彰 |
| 委員 | 西條 昌良 | 委員 | 高崎 進 |
| 委員 | 白田 信夫 | 委員 | 江尻 加那 |
| 委員 | 山岡 恒夫 | 委員 | 玉造 順一 |
| 委員 | 中村 修 | | |



定例会の議場の様子

ことば ※【移動式オービス】…可搬式速度違反自動取締装置、いわゆる移動式オービスは、走行する車両の速度を測定し、一定の速度以上で走行する車両を速度違反車両として自動で写真撮影し記録化する運搬可能な装置のことをいう。

一般質問(要旨)



議員 山中日つ たい子
 日本共産党
 日つくば市選出
 一括方式

保健所の体制強化

議員 一九九〇年代には十八か所あった保健所を一昨年に九か所に削減した。コロナ対策に追い打ちをかけたのは保健所の弱体化であり、人口二十万人に一か所の設置を目指すべきと考えるが、所見は。
知事 保健所の抜本的再編による体制強化がなければ、コロナ対応は極めて困難だったが、業務が大幅に増加したため、応援職員派遣などに努めてきた。引き続き応援体制を維持するほか、保健師を増員し、さらなる体制強化を図る。



議員 遠藤実
 県民フォーラム
 那珂市選出
 分割方式

新型コロナウイルス接種体制の整備

議員 ワクチン接種は国・県・市町村が役割をしっかりと果たし、実施することが必要である。接種体制をどのように整備していくのか。
知事 接種体制の構築には、会場と医療従事者の確保、副反応などの安全面の配慮が必要である。県は市町村に対し、計画策定や医師・看護師などの確保が困難な場合の相談窓口の設置や副反応への対応のための研修会も行い、安心して接種できる環境を整備する。

教員の長時間勤務の改善

議員 教員の長時間勤務の解消に、どう取り組むのか。変形労働時間制の導入を見送った理由は。
教育長 時間外勤務の削減に向け、部活動指導員など外部人材の活用などに努めてきた。昨年から十二校を働き方改革モデル校に指定し、超過勤務削減の取り組みを進め、今後この成果をガイドラインとして全学校に横展開する。長時間勤務の削減推進が先決と考え、変形労働時間制の導入は当面見合わせた。
 (ほかに、なめがた地域医療センター、開発行政の課題なども質問)



子どもたちに向けて熱心に授業する教員

食品ロスの削減とフードバンク活動の支援

議員 コロナ禍で生活困窮者が増加する一方、食品ロス問題も深刻である。削減につながる取り組みとして余剰な食品などを分配する市民活動を強力に支援してほしい。
県民生活環境部長 家庭などへの啓発活動により、食品ロス問題が広く認知され、フードバンク活動などが見られるようになった。引き続き、啓発活動や、関係者間が情報共有する場の提供などにより、食品ロス削減に取り組む。
 (ほかに、自殺対策の推進、飲食業界への支援なども質問)



市民団体によるフードパントリー(食料品配布会)の様子



議員 石塚隼人
 いばらき自民党
 坂東市・五箇町・埴町選出
 一括方式

コロナ禍における雇用対策

議員 女性の自殺を食い止めるには、要因の一つと考えられる雇用環境の悪化への対策が重要である。また、若者への支援にも力を入れていく必要があると考えるが、雇用対策にどう取り組んでいくのか。
知事 県の就職支援センターでの相談体制の強化などに努めた結果、約六百件の就職が実現した。今後は、多くの女性が活躍する介護分野での職業訓練の充実強化や就職面接会の回数を増やすなど、マッチング機会の増加を図っていく。

小中学校における不登校児童生徒への支援

議員 不登校児童生徒が過去最多となる中、児童生徒一人一人へのきめ細かな支援が課題となっているが、どう支援していくのか。
教育長 支援を必要とする家庭にとつて支えとなるスクールソーシャルワーカーを増員する。また、リースクール^{※3}と連携した支援を強化するため、新たに運営経費や授業料の一部を助成するほか、活動内容を広報するなど、安心して利用できる環境を整えていく。
 (ほかに、里親制度の推進、メディアリテラシー教育なども質問)



就職面接会の様子

「Live110」^{※5}への取り組み

議員 映像をリアルタイムで警察と共有できるLive110は、県民の安心安全を守る上で革新的な技術である。本県でも速やかな導入が期待されるが、所見は。
警察本部長 Live110と同様の機能を持つ「110番映像通報システム」が、令和三年度中に全国の警察で導入される見込みとなった。茨城県警察でも、広報啓発活動により県民へ使用方法の周知を図り、効果的に活用していく。
 (ほかに、東京圏からヒトを呼び込む施策、事業者支援なども質問)



速やかな映像通報システムの導入を(通信指令室の様子)

今定例会で可決された議案など

議員など提出

- ◆**条例等の一部改正**
- 茨城県議会会議規則の一部を改正する規則
- 茨城県議会委員会条例の一部を改正する条例

決議

- ◆**決議**
- 県立高校入学者選抜学力検査の採点ミス事案に関する原因究明の徹底、責任の明確化及び再発防止の徹底を求める決議

知事提出

- ◆**令和三年度当初予算関係**
- 一般会計予算(一件)
- 特別会計予算(十三件)
- 企業会計予算(六件)
- ◆**令和二年度補正予算関係**
- 一般会計予算(二件)
- 特別会計予算(十三件)
- 企業会計予算(六件)
- ◆**条例の制定**
- 茨城県新型コロナウイルス感染症対応地方創生基金条例
- 茨城県ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策基金条例

条例の一部改正

- 茨城県職員定数条例の一部を改正する条例
- 茨城県行政組織条例の一部を改正する条例
- 茨城県特定非営利活動促進法施行条例及び茨城県特定非営利活動促進法に係る民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律施行条例の一部を改正する条例

条例の廃止

- つくばみらい都市計画事業伊奈・谷和原丘陵部一体型特定土地区画整理事業施行規程を定める条例を廃止する条例

その他

- 男女共同参画の推進に関する基本的な計画について
- 県有財産の売却処分について(茨城中央工業団地(笠間地区)事業用地)

人事

- ◆**人事**
- 教育委員会教育長の任命について
- 茨城海区漁業調整委員会委員の任命について
- 霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会委員の任命について
- ◆**報告**
- 地方自治法第七十九条第一項の規定に基づく専決処分について

ことば ※3【スクールソーシャルワーカー】…主に社会福祉士や精神保健福祉士の資格を持った福祉の専門家。児童生徒が抱える問題に対し、さまざまな機関と連携しながら、解決に向けた支援を行っている。
 ※4【フリースクール】…不登校児童生徒に対し、学習活動、教育相談、体験活動などの活動を行っている民間の施設。
 ※5【Live110】…110番の通報者がスマートフォンによるビデオ通話を行い、通報現場の状況を撮影し警察に伝送するシステム。

常任委員会の審査から

総務企画委員会

組織改正がなされた後、 検証は行われているのか 各所属の意見を聞き、 見直しを検討している

問 組織改正には、業務フットワークの向上などの効果がある一方、迅速な結果を求め、類似業務を行う組織が併存している。全体コネクトも必要と考えるが、組織改正の検証は行っているのか。

答 随時、各所属の意見を聞き、業務動向などを踏まえた組織見直しを検討している。必要に応じてプロジェクトチームを設置するなど、より良い執行体制づくりを進めたい。

問 業務のデジタル化は、県民サービスにどう貢献しているか。また今後、デジタル化で業務はどう変わるのか。

答 職員の業務の効率化や、県民が二十四時間手続き可能な電子申請により、県民サービス向上につながっていると考える。AIなどの導入に加え、業務見直しもセットで進め効率化を図るとともに、電子申請の拡充やキャッシュレスなども前向きに進めたい。

問 法*に基づく地域公共交通計画の未策定市町村に策定を働き掛けるべき。地域公共交通施策は、移住施策を考える上でも必要との認識で取り組むべきと考えるが、所見は。

答 計画策定が国の支援の前提となるので、市町村が主体的に取り組めるよう支援していく。人の呼び込みには、生活環境の整備や利便性の向上なども重要であり、移住施策との連携も図っていきたい。

問 砂沼サンビーチ跡地は、昨年の代表質問で知事から、県西地域の拠点になると答弁があった。地元意見を反映し、茨城の顔となる拠点として再生してほしいが、所見は。

答 砂沼サンビーチのレガシーを継承し、誇りを持てる施設として再生したい。地元説明会で、調査の途中経過を説明するなど、地元の見聞も聞きつつ、整備を進めていく。

(ほかに、日本製鉄(株)東日本製鉄所鹿島地区の高炉休止への対応、県北振興チャレンジプランなども質問)



地域公共交通の維持確保により生活利便性の向上を

防災環境産業委員会

営業時間短縮要請等関連事業者 支援一時金の今後の事業スケジュールは 遅くとも三月十九日には 申請受付を開始したい

問 営業時間短縮要請等関連事業者支援一時金における、今後の事業スケジュールは。

答 遅くとも三月十九日には申請受付を開始したい。対象事業者は、典型的なものを例示し、その他については個別に判断していく予定である。よくある質問については、県ホームページに掲載している。

問 危機管理の本質は、被害を最小限に止めることと認識しているが、東日本大震災からの教訓をどう生かすのか。

答 地域防災計画の見直しや防災倉庫の建設を行うなど、公助の取り組みを進めてきた。また、住民の防災意識の高揚を図るため、マイ・タイムラインの普及啓発や自主防災組織の結成促進など、自助・共助の取り組みも進めていく。

問 廃棄物などの不法投棄の監視強化として、Webカメラを活用する狙いは。

答 Webカメラは、不法投棄のあった場所に設置し、常時監視を行い、さらなる拡大防止が大きな目的の一つである。また、犯罪があった時の証拠をとる効果やカメラの監視による防犯効果もある。きめ細かい監視体制やカメラの

効果を生かしながら、警察とも連携して、「茨城は捨てづらい」という環境を整備する。

問 新最終処分場の整備に向け、当初の計画にはなかった新設道路を作ることは、候補地選定過程との整合性が取れないと考えるが、所見は。

答 整備候補地は、専門家からなる検討委員会で絞られた三か所から最終的に県が決定したが、もともと交通安全面の配慮が必要という評価だった。住民説明会でも現道利用への不安の声が多くあったため、新設道路を整備することとした。

(ほかに、県北地域牽引産業・中核企業創出事業、不妊治療と仕事の両立に向けた環境整備の推進なども質問)



新最終処分場の整備候補地(日立市諏訪町)

保健福祉医療委員会

コロナワクチン接種の見通しは 五月には、医療従事者向けの 供給が完了予定である

問 新型コロナウイルスワクチンの供給量が限られているが、本県の接種の見通しは。

答 接種の優先順位は国が定めており、医療従事者、高齢者の順となる。医療従事者向けの供給は、五月には完了予定と聞いている。高齢者向けは四月に全体の数%程度の量が届く予定である。県では、副反応などの県民の不安解消のため、相談に対し、保健師などが専門的に対応していく。

問 新型コロナウイルス感染者情報の公表は、感染防止の意識付けの上でも大事だが取り扱いの性別、居住市町村は、本人の同意を要せず公表している。

答 基本情報として、年齢や性別、居住市町村は、本人の同意を要せず公表している。また、職業についても、感染症のまん延防止や個人のリスク、社会への影響などを最小限に抑えるとともに、情報の信頼性を担保するため、本人の同意を得て、公表している。

問 本県は、最優先で医師確保に取り組み医療機関・診療科を選定して、医師確保に取り組んでいる。成果と今後の目標は。また、県全体の長期的な医師確保の取り組みは。

答 目標の医師数十四名に対し、十三・一名を確保した。

今後は、脳卒中や心血管疾患など、速やかな治療を要する政策医療を提供する四病院の合計七・五名の医師確保のほか、医学部の地域枠による医師の養成にも力を入れていく。

問 こども病院では、未納となった六百円の診療料について、債権を放棄する案件が多く発生している。その要因と対策は。

答 休日・夜間の救急外来診療の際に、会計窓口が閉まっているため、後日納付となり、督促しても未納のままとなつたもの。引き続き、費用対効果も考慮しながら、発生防止の方策を検討していく。

(ほかに、おいしく減塩推進事業による健康推進、保健所の体制強化なども質問)



医療従事者へのコロナワクチン接種の様子(水戸医療センターから提供)

ことば ※【持続可能な運送サービスの提供の確保に資する取組を推進するための地域公共交通の活性化及び再生に関する法律】…令和2年の改正により、地方自治体による地域公共交通計画の策定が努力義務化された。

営業戦略農林水産委員会

本県の魅力向上に寄与した
取り組みは何だったか
茨城全体で力を合わせた
結果と考える

問 本県の魅力向上に寄与した取り組みは何だったと考えているのか。また、魅力発信にどう取り組むのか。

答 農産物の販売促進や観光プロモーション、さらに県議会の「魅力向上に関する調査特別委員会」では学生にも参加いただくなど、茨城全体で力を合わせた結果と考える。今後も、偕楽園で開催したイベントのように、コロナ禍であつても今までの魅力をさらに磨き上げ、新たな魅力向上にも取り組んでいく。

問 いばらき観光マイスター^{※1}の活用はどう取り組むか。マイスターのチャンピオンを決める大会など、意欲を高める仕組みを検討してはどうか。

答 マイスターによる、おもてなし向上のための企画コンペなどを実施している。観光消費を上げる取り組みに貢献いただけるよう、意欲を高める方策も検討して行きたい。

問 県南コシヒカリが初めて食味ランキング^{※2}で特Aを獲得した。評価の継続的な獲得に向けてどう取り組むか。

答 適切な水管理や、こまめな追肥など、産地の地道な努力が評価につながった。継続

的な獲得が県産米の評価向上につながる。特Aを獲得した水田を分析するとともに、良好な結果が得られた管理法を継続するなど、特A獲得の継続、地区の拡大に努めていく。

問 漁業後継者の確保・育成が急務である。海洋高校と地元漁協の交流など支援が必要と考えるが、県の考えは。

答 定置網漁業などで研修を始めてから、海洋高校生が就業するようになった。後継者確保には儲かる漁業の実現が必須なので、シラス漁業の競争力強化などで経営体の力を高め、法人化や担い手の確保につなげていきたい。

(ほかに、学校給食提供緊急対策事業の取り組み実績と効果、日本遺産を活用した観光振興の取り組みなども質問)



魅力発信に活躍する観光マイスター

土木企業委員会

つくばみらい福岡地区土地造成
事業の現在の準備状況は
開発許可に向けて、県と市で
連携し準備を進めている

問 つくばみらい福岡地区は、企業の注目度が高い地域であり、早期に造成できるような進めていただきたい。現在の準備状況と今後の見通しは。

答 開発許可に向けて、県と市で地区計画などの準備を進めている。現時点の見込みでは、令和三年度に基本設計、実施設計、用地買収などを行い、令和五年度には造成工事の一部を完了させ、引き渡しができるよう事業を進める。

問 独占禁止法違反に係る活性炭販売業者への損害賠償請求に関して、請求の対象期間が平成二十六年から平成二十八年度に限定されているのはなぜか。また、損害を回収できる見込みはあるのか。

答 公正取引委員会が談合を認定した本県契約業務に対して請求している。水道ユーザーの信頼に應えるため、損害の回復に全力で取り組む。

問 本県の交通インフラの整備は、近隣県と比べてどのような進捗状況にあるか。

答 高速道路と港湾は整備が進んでいる。一般国道については、近隣県と差がある。ここ数年は、一般国道の新規事業が増え、整備が進



治水対策の加速化を

問 本県においては、七つの流域で「流域治水プロジェクト」を策定予定と聞か、今後どのように進めていくのか。

答 河川対策として防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策予算などを活用し河川整備を進める。流域対策として浸水実績などを踏まえ、土地利用規制を検討する。ソフト対策としてハザードマップ、マイ・タイムラインの作成支援などを進めていく。

(ほかに、水道事業の経営基盤強化に向けた取り組み、常陸那珂地区中央ふ頭地区の整備と利活用なども質問)

文教警察委員会

増加するサイバー犯罪への対応は
県警HPでの注意喚起など、
各種対策を推進していく

問 新型コロナの影響により、オンラインの活用が急速に進展する中、増加するサイバー犯罪にどう対応しているのか。

答 県警HPなどで広く県民に注意喚起を行っているほか、詐欺サイトを表示した時に警告画面を表示する対策や、サイバー攻撃特別捜査隊の活動により、被害の未然防止に努めている。引き続き、県民が被害に遭わないよう、各種対策を推進していく。

問 信号機は年間二十数基しかつけられず、これでは、県民の期待にこたえられない。民間資金を活用した設置も検討すべきだと考えるが、所見は。

答 地域住民や企業からの寄付により、交通安全設備を整備する手法は、具体化できていない。予算に限られている中で、県民の期待にこたえられるためには、研究していかねばならないと考えている。

問 質の高い教育を实践するには、働き方改革を推進し、教職員が心身ともに健康であることが必要だが、方策は。

答 モデル校を指定し、定時退勤日の設定、業務削減、効率化による超過勤務の縮減に取り組んでいる。今後は、小



民間資金を活用した信号機設置を

※1【いばらき観光マイスター】…行政、事業者、県民などが一体となって「おもてなし日本一」を目指す「いばらき観光おもてなし条例(平成26年11月施行)」を踏まえ、タクシーやバスの乗務員、宿泊施設や観光施設の従業員などの観光知識や接客スキルの向上を図るため、試験を実施の上、県が認定する制度。
※2【食味ランキング】…一般社団法人日本穀物検定協会が毎年実施する米の評価。基準米と比較し、外観や香り、味などで「特A」から「Bダッシュ」まで5段階に分ける。

予算特別委員会

●質疑者

3月19日(金)



映像から
録画された
質疑の
内容は
こちらに
ご覧いただけます。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 磯崎 達也 (いばらき自民党) | 金子 晃久 (いばらき自民党) |
| 高安 博明 (県民フォーラム) | 玉造 順一 (立憲民主党) |
| 大瀧 愛一郎 (いばらき自民党) | 江尻 加那 (日本共産党) |
| 村本 修司 (公明党) | 山野井 浩 (いばらき自民党) |
| 長谷川 重幸 (いばらき自民党) | 加藤 明良 (いばらき自民党) |

3月22日(月)

磯崎達也委員(自民) 第四次男女共同参画基本計画の下、男女共同参画社

会に向けて、課題解消にどう取り組むのか。ダイバーシティ推進センター※1は社会の多様性を育むため、どのような取り組みに力を入れていくのか。

県民生活環境部長 政策や方針決定過程に参画する女性の割合が全国と比較し低い。令和七年度の県審議会の女性委員割合40%を目標に、関係団体に推薦を働き掛けている。ダイバーシティ推進センターは、性別、年齢などの多様性(ダイバーシティ)を受け入れ、認め合う社会の実現を目指す。点で、普及啓発や人材育成に取り組む。

(ほかに、国グリーン成長戦略を踏まえた環境チャレンジ、阿字ヶ浦周辺地域の交差点安全確保についても質問)

高安博明委員(県民) 「道の駅日立

おさかなセンター」を核とした茨城港日立港区周辺地域の可能性をどのよう

ようにつなげていくのか。

政策企画部長 道の駅の持つ高いポテンシャルを周辺地域の交流人口拡大につなげるため、首都圏での観光キャンペーンなどによるPRを実施し、知名度向上を図ってきた。日立市では、総合計画後期基本計画の重点プロジェクトとして、道の駅再編・再整備検討事業を位置付け、新たな地域連携について検討している。地元市町などとの連携協力の下、賑わいと活力ある地域づくりに全力で取り組む。

(ほかに、サイクルツーリズムの推進、保健所の体制強化なども質問)

大瀧愛一郎委員(自民) 森林湖沼環

境税を活用し、森林整備の成果は上がっているものの、課題が多く依然として整備が行き届いていない。森林整備の最終的な目標と今後の取り組みは、

知事 最終的な目標とする姿としては、林業経営体による森林整備が事業活動として持続的に拡大することにより、低廉なコストで森林の公益的機能が発揮されることを考えている。このため、林業経営体による施業の集約化や再造林を支援し、素材生産量を拡大させる

とともに、中高層建築物などを対象に、木材の需要開拓を進め、林業の成長産業化の実現を目指していく。

(ほかに、新型コロナウイルス接種、不妊治療を受けやすい環境づくりなども質問)

村本修司委員(公明) 新型コロナウ

イルスの感染拡大防止のため、ナッジ理論など行動科学を活用した注意事項の呼び掛けや、専門家を交えたチームを編成して感染原因などのデータ分析と情報発信をしてほしいが、所見は、

知事 県民への注意喚起は、具体的場面を想像できるよう、会食や職場での

留意点を発信するよう努めている。国立感染症研究所と連携したクラスター

分析のほか、同所へ派遣していた職員が疫学的分析を担っており、今後、分析ができる職員の養成に取り組んでいく。感染症への対応強化のため、新たに感染症対策課を設置し、感染リスクが高い行動などを発信していく。

(ほかに新産業廃棄物最終処分場の今後、子どもアドボカシー※2の取り組みなども質問)

長谷川重幸委員(自民) 防災力の強

化について、自助、共助、公助の観点から、どう取り組むのか。

防災・危機管理部長 公助の面では、大規模災害により市町村の備蓄だけでは対応が困難となった場合に備え、県も物資を確保している。また、令和五年には防災ヘリの更新を予定しており、一層の消防防災能力の強化を図る。また、ウェブ版マイ・タイムライン作成

システムや人型ロボットを活用した子ども向け防災授業などにより、自助の取り組みの促進を図るとともに、自主防災組織の結成補助制度を創設し、地域の共助の取り組みも支援していく。

(ほかに、日本製鉄(株)東日本製鉄所鹿島地区の高炉休止への対応、本県農業の担い手の確保・育成なども質問)

金子晃久委員(自民) シトラスリボ

ンプロジェクト※3が全国各地で広まっているが、こうした子ども大人もわかりやすく、地域社会が自然と受け入れてくれる取り組みにより、コロナ差別がなくなるのが理想である。また、差別防止に向け、インパクトのあるメッセージ発信も重要だが取り組みは、

保健福祉部福祉担当部長 JリーグやBリーグなどと連携し、選手に差別的取り扱いの禁止や医療従事者への励ま

しを呼び掛けてもらうメッセージ動画を発信してきた。また、シトラスリボンプロジェクトなどの優れた民間団体の取り組みを県内市町村に情報提供する

など、人権啓発の輪を広げていく。(ほかに、コロナ患者のメンタルヘルス対策やコロナ自殺対策なども質問)

玉造順一委員(立憲) 原子力基本法で原子力利用の原則の一つとされている「公開」の側面から見た場合、本県原子力行政における情報公開の基本姿勢は、今後の広域避難計画策定にどのような方針で適用していくのか。

防災・危機管理部長 何よりも大切なことは安全の確保であり、積極的な情報発信が県民の安全・安心に繋がると考える。このため、関係者の理解が得られた避難地域時検査場所や第二の避難先の候補地などをホームページなどで公表し、県民から意見をいただきたい。

(ほかに、新たな計画での「県民が日本一幸せな県」という理念の具体化、感染症対策に関する本県の主な課題なども質問)

江尻加那委員(共産) 東海第二原発

の避難計画で、一人当たりの避難所面積は二平方メートルのまま変更しないのか。

福島第一原発からの避難先では、心身を病んだ方も、絶望し命を絶つた方もいる。水戸地裁による判決※4を重く受け止め、再稼働を断念すべき。所見は、

知事 避難所面積は、長距離避難とならないよう避難者の負担を考慮したもので見直しは考えていない。生命と身体保護を第一目的に避難計画策定に当たっている。避難所生活を可能な限り短くするため、ホテル、旅館、公営住宅なども活用予定。避難住民が健康相談をできる窓口も検討していきたい。

(ほかに、新産業廃棄物最終処分場建設計画、児童の保護・若年被害女性への支援なども質問)

山野井浩委員(自民) つくばみらい市福岡地区は、工業団地を造成する上での適地であり、今後日本を代表する優良な企業の立地が期待される。どんな企業を誘致していく方針なのか。

営業戦略部立地推進担当部長 同地区は都心からのアクセスが良好で、研究機関が多数立地する筑波研究学園都市に近接するなど企業誘致を進める上で大変ポテンシャルが高い。その利点を生かし、今後も成長が見込まれる半導体や5G、次世代自動車などの最先端分野の本社機能や研究開発機能、生産拠点など大きな波及効果が期待できる優良企業の誘致を目指し鋭意取り組む。

(ほかに、外国人材が安心して働ける環境づくり、少人数教育の取り組みと成果、新たな施策の展開も質問)

加藤明良委員(自民) 県内には、「宇

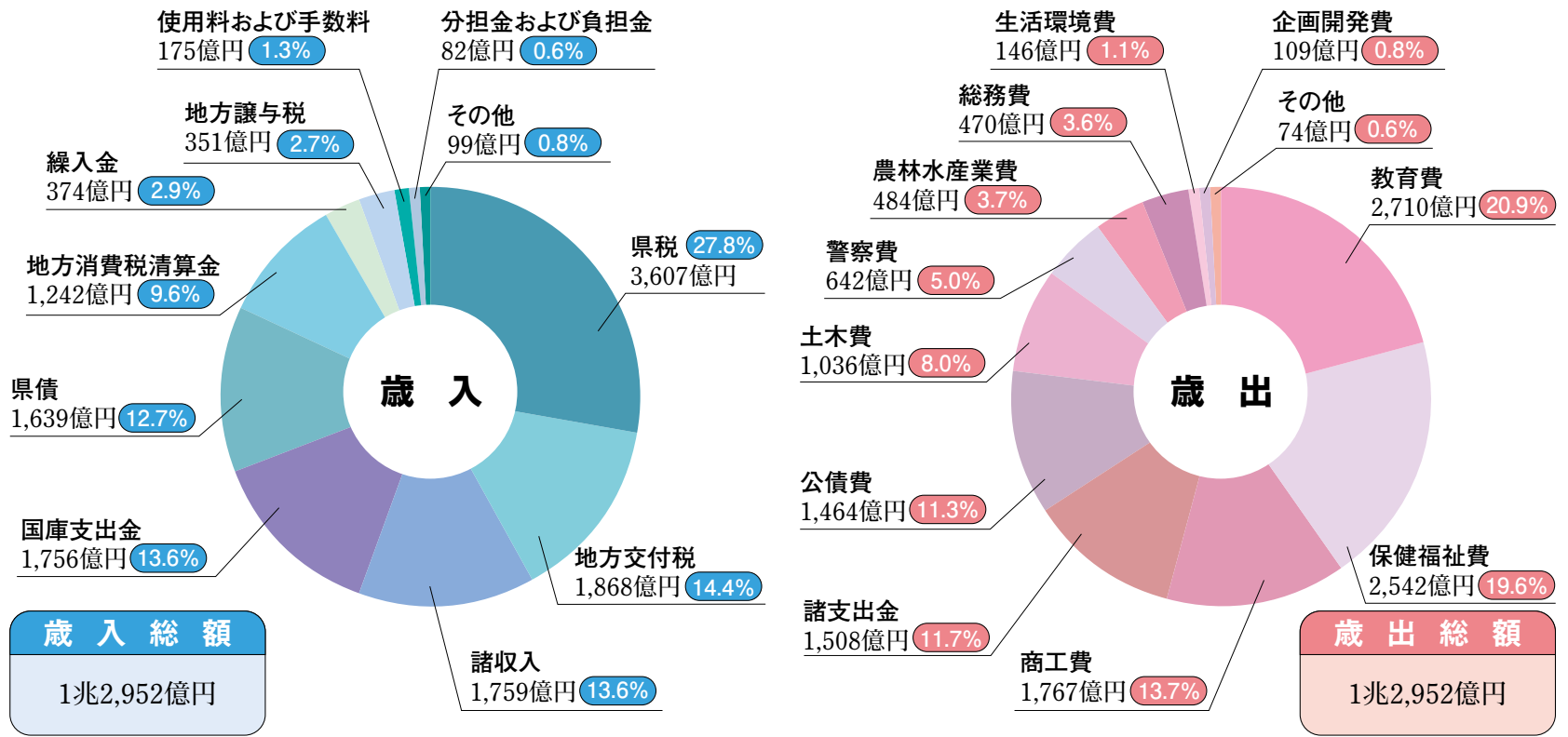
宙港構想」など、夢のある取り組みにチャレンジする企業がある。宇宙ビジネスの市場拡大など、国内外の情勢を踏まえ、宇宙ビジネスに取り組みベンチャーや企業などをどう支援していくのか。

知事 県では、他県に先駆けて、ビジネス化の取り組みを推進し、百社以上の企業が、本県を拠点とした活動を開始している。今年度は、JAXAなどが保有する試験設備の利用申請をワンストップで行う仕組みを構築した。今後は、県内事業者への集中的な開発支援に取り組みほか、事業者の海外展開もサポートしていく。

(ほかに、いばらき水素戦略の進捗と今後の展開、弘道館の保存活用計画の推進と調査研究業務なども質問)

ことば ※3【シトラスリボンプロジェクト】…シトラス色のリボンを身につけて、コロナに感染しても差別や偏見なく元の暮らしに戻る社会を目指そうと愛媛県から全国に広まっている取り組み。
 ※4【水戸地裁による判決】…本県内外の住民が、日本原子力発電に対し東海第二発電所の運転差止めを求めた訴訟。今年の3月18日、水戸地裁は、日本原電に運転差止めを言い渡した。

令和3年度一般会計予算の内訳



主な事業

① 「新しい豊かさ」へのチャレンジ

- 検査体制の拡充** (44億1,500万円)
 - ・PCR検査などにかかる自己負担分への補助など
- 医療提供体制の充実** (344億5,200万円)
 - ・患者を受け入れる医療機関の病床確保のための補助
 - ・宿泊療養施設の運営、自宅療養者への医療・生活支援
 - ・ワクチン接種の体制確保 など
- 東京オリンピック・パラリンピックにおける感染症対策** (5億100万円)
- 小学校の臨時休業に伴う放課後児童クラブの実施や感染症対策への支援** (6億円)
- 感染症対策を徹底しながら円滑に授業カリキュラムを進めるため、学級担任業務を補助する学校サポーターの配置** (3億9,100万円)
- 妊婦に対するPCR検査費用の補助や感染した妊産婦への訪問支援** (7,100万円)
- 事業継続や新たな事業分野への進出に取り組む中小企業・個人事業主の資金繰りへの支援** (1,163億5,600万円)

② 「新しい安心安全」へのチャレンジ

- 工業団地整備調整推進事業** (9,800万円)
- つくばみらい福岡地区土地造成事業** (122億1,700万円)
 - ・企業立地が有望な「つくばみらい福岡地区」

に新たな工業団地を造成し、新たな産業用地開発のための調査を実施

- いばらき農林水産物ネクステージ展開強化事業** (5,600万円)
 - ・生産量日本一であるクリの加工品のブランド化や厳選品目の高級店での取り扱いを推進
- いばらきグローバルビジネス推進事業** (1億4,400万円)
 - ・県内企業の海外展開を総合的に支援
- 「いばらきの養殖産業」創出事業** (1億3,200万円)
 - ・高い収益性などが見込まれる魚種を対象に、養殖技術の開発や参入事業者の誘致を推進

③ 「新しい人財育成」へのチャレンジ

④ 「新しい夢・希望」へのチャレンジ

- 新最終処分場整備関連事業** (6億900万円)
 - ・新たな産業廃棄物最終処分場の基本計画策定や周辺道路の設計
- 避難対策強化事業** (5,000万円)
 - ・「マイ・タイムライン」の普及・啓発や防災意識の向上を推進
- 災害ボランティア条例関連事業** (2,600万円)
 - ・基金を活用し、災害ボランティアの被災者支援を円滑化
 - ※議員提案により、令和2年第4回定例会で可決した「茨城県災害ボランティア活動を支援し、促進するための条例」を踏まえた予算措置
- 不法投棄対策事業** (1億2,000万円)
 - ・ゲリラ的不法投棄や悪質な残土処分に対応する専門チームの設置、ウェブカメラの活用など監視体制を強化

- 不妊治療費助成事業** (8億8,000万円)
- 不育症検査費用助成事業** (1,500万円)
- 県立学校における先端技術活用教育推進関連事業** (4億600万円)
 - ・県立学校における1人1台端末の導入について、低所得世帯に対する助成制度を新設し、先端技術を活用した教育を推進
- いじめ問題対策推進事業** (5,800万円)
 - ・SNS相談窓口を通年開設するとともに、いじめなどの早期発見から解消まで一貫したサポートを実施
- 茨城県テレビ広報事業** (1億2,200万円)
 - ・首都圏向けテレビを活用し、県産品や本県の魅力をプロモーション
- サイクルツーリズム推進事業** (1億100万円)
 - ・「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を核とし、各地域の特色を生かしたサイクルツーリズムを全県的に推進
- デジタル茨城ネクスト誘客促進事業** (1億1,600万円)
 - ・感染症収束後の旅行形態に合わせた、滞在型観光の促進などによる海外誘客
- 地域おこし協力隊関連事業** (1億200万円)
 - ・県北地域の課題解決に取り組む起業型地域おこし協力隊の増員など
- ひたちなか大洗リゾート構想推進事業** (2,600万円)